



令和3年6月28日

報道機関 各位

## 携帯電波圏外エリアにおける通信環境の構築に向けた 4者共同実証試験の開始について

国立大学法人富山大学(以下「富山大学」という)は、北陸電力株式会社、五十嶋商事有限会社、株式会社フォレストシーと共同で無線通信技術(LPWA<sup>※1</sup>)を活用した、携帯電波圏外エリアにおける通信環境の構築に向けた実証試験を開始することとなりましたので、お知らせします。

今回、新たに登山者の安全・安心の確保に向けた取り組みを行うべく、北陸電力株式会社、五十嶋商事有限会社、株式会社フォレストシーと連携し、有峰ダムと北アルプス薬師岳周辺の山小屋を拠点とする通信インフラの構築に向けた実証試験を4者共同で実施することとなりました。本日、北陸電力 有峰ダム(富山県富山市)に親機の設置が完了し、今後は山小屋への中継機設置を進めて通信エリアを広げて様々な実証試験を開始します。

本学は、今年の降雪前の期間において、株式会社フォレストシー製のパーソナルチャット・SOSデバイス(ジオチャット<sup>※2</sup>)を用いた中山間地域での無線通信調査、データの分析及び活用の検討を行います。

※1 LPWA: 「Low Power Wide Area」の略で、低消費電力かつ長距離通信が可能な無線通信技術

※2 ジオチャット: スマートフォンの専用アプリと無線接続し、テキスト、位置情報、SOS信号を送受信できる端末。(音声通信はできない)

別紙: 実証試験の概要

### 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 都市デザイン学部 (堀田 裕弘)  
TEL. 076-445-6758  
horita@sus.u-toyama.ac.jp



- 株式会社フォレストシーが保有する独自の長距離無線通信規格「ジオウェイブ®」を活用し、北陸電力株式会社が保有する有峰ダムと五十嶋商事有限会社が運営する山小屋に通信機器を設置し、北アルプスの携帯電波圏外エリアにおけるIoT通信インフラを構築します。
- この通信インフラ上で、株式会社フォレストシーのチャットコミュニケーション及びSOS発信端末「ジオチャット®」を用いて、登山者の位置情報のモニタリングや、遭難を想定した緊急SOS通報の有効性を確認する実証試験を行います。
- 国立大学法人 富山大学が、ジオチャットを用いた中山間地域での無線通信調査、データの分析及び活用の検討を行います。
- 実証期間は、2021年6月～2022年2月を予定しています。(現地での実証は、2021年7月～10月を予定しています。)

## 通信エリア及び分担のイメージ

